

第1学年 学級活動学習指導案(学校給食)

1. 題材名 すきなものだけたべないで

2. 指導にあたって

(1) 児童の実態

低学年の児童は、給食を大変楽しみにしており、午前中「今日の給食は何」とよく聞いてくる。自分の好きなおかずは「やったー」といって大喜びする。しかし、食べたことのない食品や、きれいな料理は残す児童も見受けられる。

(2) 題材設定の理由

小学校の6年間は成長も著しく、多くの栄養摂取が必要な時期である。しかし、小学校1年生は、まだまだ食体験が少なく偏食する児童も多い。この時期に食べ物に興味を持たせ、好き嫌いをなくしていこうという態度を育て、望ましい食習慣を身につけていくことが大切である。食品には色々な働きがあることを知り、好き嫌いしないでいろいろな食品を食べることができるようにこの題材を設定した。

(3) 指導のねらい

学校給食でよく残す食べ物がある事に気づいた後、「すきなものだけたべないで」の紙芝居で食べ残された食べ物の話し合いをとおして、好き嫌いの理由を考え、色々な食べ物の働きを知る事で、毎日を元気に過ごすために、苦手な食べ物も進んで食べようとする意欲を持つことができるようにしたい。

3. 食育の視点

○いろいろな食べものの働きがわかり、好き嫌いしないで食べようとする。(心身の健康)

4. 指導計画(全1時間)

すきなものだけたべないで・・・・・・・・・・1時間(本時)

5. 本時のねらい

○色々な食べ物の働き理解することができる。(知識及び技能)

6. 本時の活動

学習内容と活動	指導上の留意点 (評価◆)	資料
1. よく残す食べ物について考える。	○ワークシートに給食の食材でのこした食べ物に○をつけるように伝える。 ○よく残す食べ物があることに気づくようにする。	ワークシート 給食の献立の文字カードと食品のイラストカード
2. 紙芝居「すきなものだけたべないで」の話を聞く。	○紙芝居「すきなものだけたべないで」を読む。	紙芝居「すきなものだけたべないで」
3. 食べ残した食べ物の理由を考える。	○食べ残した食べ物の理由について考えるようにする。 ○児童の発表を板書する。	食べ残された食べ物の絵と言葉の文字カード
4. 食べ残した食べ物の働きを考える。 ・ごはんは運動するとき、勉強するときのエネルギーになる。 ・魚は血や肉になる。また、魚のあぶらは血をサラサラにする。 ・野菜は病気の予防やお腹の中をきれいにする。	○食べ残した食べ物の働きを考えるようにする。 ○児童の発表を板書する。	ごはん、魚、野菜、食べ物の働きの絵と文字カード
5. 今日の学習でわかったこと、おもったことを考える。	○今日の学習でわかったこと思ったことを考えるようにする。 ○発表を板書する。	おもったこと、わかったことの文字カード
6. 考えたことを発表する。	◆色々な食べ物の働きを理解している。(知識・技能)	ド

7. 学習のまとめと振り返りをする。	○好ききらいしないで食べて、毎日を元気に過ごせるように付け加える。	
--------------------	-----------------------------------	--

7. 板書計画

すきなものだけたべないで

たべないりゆう

- ごはん 5人
- ぎゅうにゅう 3人
- さばのにももの 6人
- ほうれんそうのおひたし 7人
- みそしる 1人
- うすあげ 1人
- じゃがいも 1人
- ほくさい 3人
- にんじん 5人
- わかめ 6人
- あかみそ 2人

すきになるといいこと

- ごはん
- さかな
- やさい

わかったこと おもったこと

- ごはんをたべないとちからがでない。
- さかなはからだをつくる。
- やさいをたべるとびょうきにならない。
- すききらいしないでたべる。
- きゅうしょくをのこさないようにする

こえるからたべない

ほねがあるからきらい

あじやにおいがきらい

びょうきにならないようにする

うんどうするときのちからになる

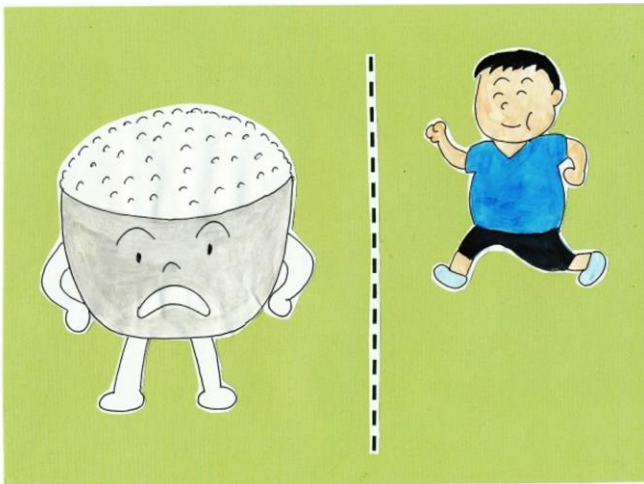
「ち」をサラサラにする

おなかのなかをきれいにする

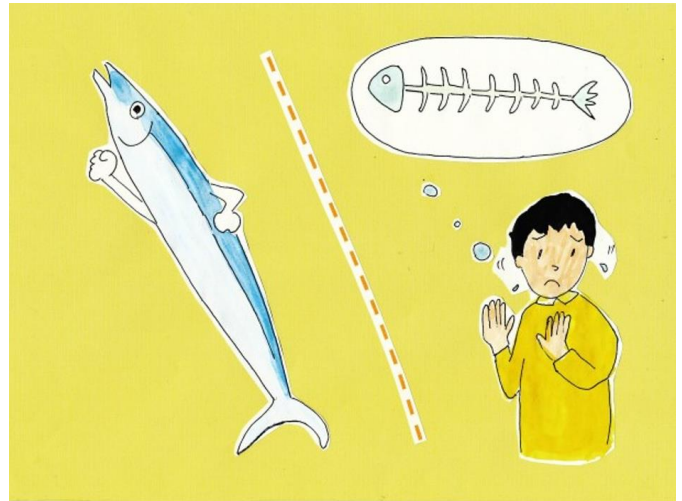
べんきょうするときのあたまのエネルギーになる

からだをつくる「ち」や「にく」になる

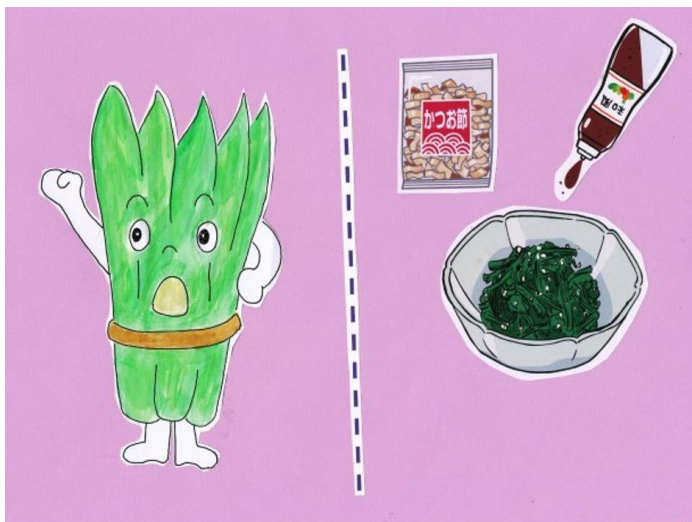
指導資料 (印刷はパワーポイント資料より可能)



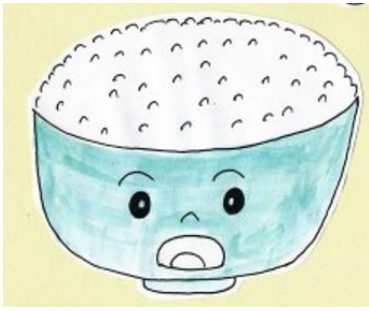
こえる からたべない



ほねがあるからきらい



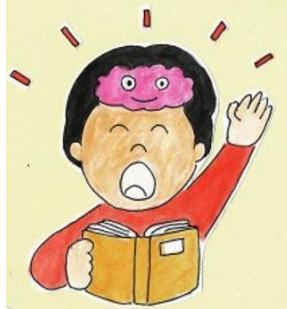
あじやにおいがきらい



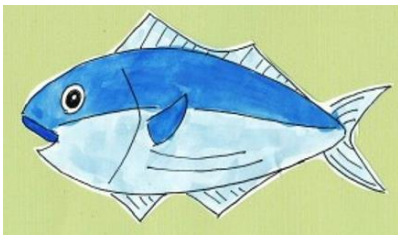
ごはん



うんどうするときの
ちからになる



べんきょうするときの
あたまのエネルギー
になる



さかな



からだをつくる「ち」
や「にく」になる



「ち」をサラサラにする



やさい



びょうきにならない
ようにする

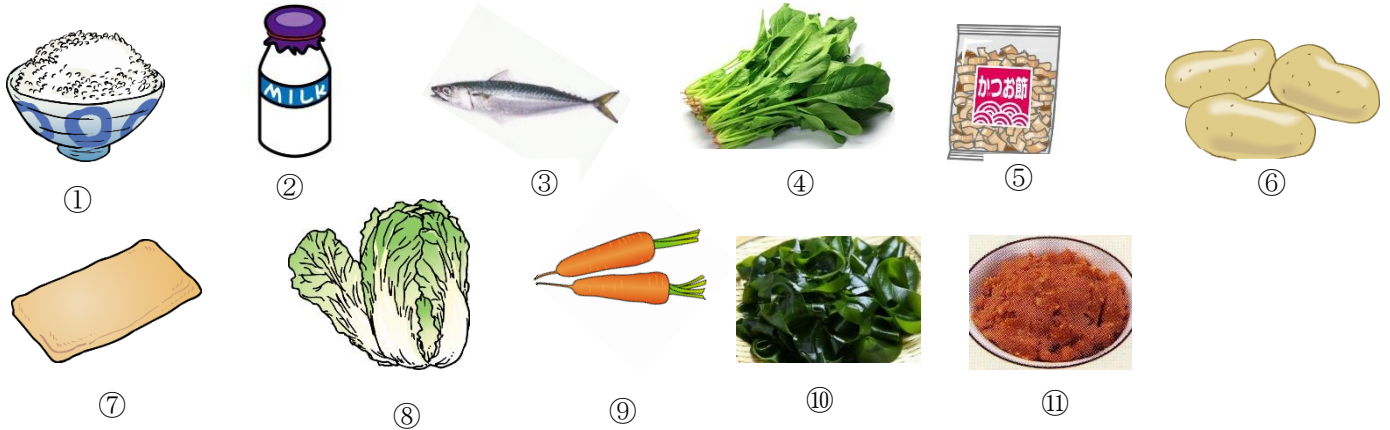


おなかのなかを
きれいにする

すきなものだけたべないで 1ねん__くみ なまえ_____

1 きんのうのきゅうしょくでのこしたたべものに○をつけましょう。

こんだて【ぎゅうにゅう・きばのにもん・ほうれんそうのおひたし・みそしる】



2 ごはん、さかな、やさいをすきになるとどんないいことがあるでしょうか。せんでむすびましょう。

	●		<p>びょうきにならないようにする</p>
<p>ごはん</p>	●		<p>うんどうするときのちからになる</p>
	●		<p>「ち」をサラサラにする</p>
<p>さかな</p>	●		<p>おなかのなかをきれいにする</p>
	●		<p>べんきょうするときのあたまのエネルギーになる</p>
<p>やさい</p>	●		<p>からだをつくる「ち」や「にく」になる</p>

3 「わかったこと」「おもったこと」ことをかきましょう。